

平成 18 年度当初予算 施策別概要

4 2 1 自然環境の保全・再生と活用

(主担当部 : 環境森林部)

42101	多様な自然環境の保全	(環境森林部)
42102	生物の多様性の確保	(環境森林部)
42103	自然とのふれあいの確保	(環境森林部)
42104	河川・湖沼等の保全・再生	(県土整備部)
42105	海浜の維持・保全と再生	(県土整備部)
42106	自然環境保全の研究の推進	(政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 自然環境が

(意図) 地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用されている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
多様な自然環境の保 全面積 (ha)	目 標 値	-	50,050	52,300	52,350
	実績(見込み)値	50,021	50,039	53,388	-

「自然公園特別地域の面積」、「自然環境保全地域特別地区の面積」、「里地里山保全活動計画の認定面積」の合計面積

< 平成 18 年度に残っている課題 >

県民の自然環境に対する認識の高まりに伴い、原生的な自然の保護だけでなく、里地里山など身近な自然の大切さが見直されており、地域の人びとが主体となった人と自然が共生できる地域環境づくりや自然とのふれあいを一層促進する必要があります。

開発等により野生動植物の生息環境が悪化しており、その保護が喫緊の課題となっていることから、生物多様性を確保するため、特に希少な野生動植物の生息・生育状況の継続的な調査や情報の整理が必要となっています。

野生動植物に関する各種情報について県民との共有を促進するとともに、第 9 次鳥獣保護事業計画に基づく鳥獣保護区等の設定などを進める必要があります。

自然公園など良好な自然環境とのふれあいを促進するため、公園計画の策定や誰もが利用しやすい施設の整備を進めるとともに、整備された施設の適切な維持管理を図る必要があります。

潤いのある水辺空間や河川環境の保全を図るとともに、自然豊かな海浜の維持・再生を進める必要があります。

自然の消波機能と生態系を育む場である海浜が侵食され、失われつつあります。

針葉樹人工林は、林業の低迷等を背景に、適正な間伐等の保育が行われず、森林の多面的機能の低下が危惧されています。

< 平成 18 年度の施策の取組方向 >

県民、事業者等による里地里山や身近な自然を守る活動を促進するため、里地里山保全活動認定制度やみんなで自然を守る活動認証制度の普及促進を図り、保全活動を行う団体を支援するとともに、緑化を推進する団体等と連携して多様な主体による森林づくりを展開します。

平成 17 年度策定の県内希少野生動植物に関する情報を提供する三重県レッドデータブック 2005 を活用して、開発部局との調整、移入種対策、県指定希少野生動植物種の指定を行い、生物多様性の確保・保全に取り組みます。

野生鳥獣との共生を図るため、第9次鳥獣保護事業計画に基づく鳥獣保護区等の設定などを進めるとともに、散弾の鉛問題に対処するため、非鉛製散弾の使用に関する狩猟者の理解を促進します。

自然環境を保全しつつ県民が自然とのふれあいの機会を増進するため、公園計画の策定や誰にでも容易に利用できる自然公園施設の整備と利用の促進を図るとともに自然公園大会を開催して、県民と良好な自然環境とのふれあいを促進します。

河川が本来持っている水辺の豊かな自然環境を保全・整備するため、治水との調和を図りながら生態系や景観に配慮した川づくりや河川整備を進めます。

国土保全のための海岸保全施設の整備に加え、自然の消波機能と豊かな生態系を育む場である海浜の保全・整備や、海浜の侵食を抑制するための施設整備を進めます。

森林の持つ水土保持機能等の多面的・公益的機能の維持増進を図るための調査・研究開発に取り組みます。

<主な事業>

(新) 多様な主体による森林づくり事業【基本事業：42101 多様な自然環境の保全】

当初予算額： - 千円 5,815 千円

事業概要：ボランティア団体、企業等多様な主体の森林づくりをサポートし、自発的に森林整備に取り組む地域づくりを進めます。

(新) 希少生物保全事業【基本事業：42102 生物の多様性の確保】

当初予算額： - 千円 5,807 千円

事業概要：三重県レッドデータブック 2005 の普及啓発を図り、生物多様性の確保にかかる活動への県民参加を促すとともに、県民との情報交換、関係機関との連携を図りながら希少野生動植物の保護を促進します。

(新) 自然公園大会開催事業【基本事業：42103 自然とのふれあいの確保】

当初予算額： - 千円 56,638 千円

事業概要：自然に親しみ、自然との豊かなふれあいを体感し、自然を大切にすることを育むため、伊勢志摩国立公園指定 60 周年記念を兼ねて、自然公園大会を開催します。

広域河川改修事業【基本事業：42104 河川・湖沼等の保全・再生】

当初予算額： 1,180,000 千円 759,000 千円

事業概要：洪水等による災害を防止するため、河川堤防の整備や自然環境と生態系に配慮した護岸整備を行います。

海岸環境整備事業【基本事業：42105 海浜の維持・保全と再生】

当初予算額： 561,000 千円 51,000 千円

事業概要：県土保全と併せ海岸の利用の増進に資するため、護岸や遊歩道の整備、養浜等により安全で快適な海浜空間を創出します。

強度間伐による人工林の針・広混交林化技術に関する研究事業

【基本事業名：42106 自然環境保全の研究の推進】

当初予算額： 2,450 千円 2,370 千円

事業概要：スギ・ヒノキ人工林において強度間伐を行うことにより、風倒等の気象災害を回避しつつ、確実に針広混交林化させるための技術を開発します。